

テーマ

未来を切り拓く子

目標

地域の大人と子どもの協働ができるコミュニティの育成
親が育ち、教師が育ち、地域が育ち、子どもが育つ社会

今年度の取組紹介

飛鳥中学校区では、「飛鳥ブランドの子ども」として、子ども達の価値観を多様に育て、子どもたちの豊かな育ちを支援していくために、家庭任せ、学校任せではなく、地域のみinnで地域の子どもたちを育てる為に、常に地域の協働を軸とした取組をしています。幼稚園、小学校では地域の方々との交流と見守りを大切にしながら、次第に子どもたちに役割を渡し、子どもたちの活躍の場を広げ、やがてこの地域の担い手として主体的に地域に関われるよう期待をしています。飛鳥フェスティバルにおいてはコーディネーターが中心となり、幼小中それぞれの園児・児童・生徒が役割を担い、活躍できる場をつくることができました。それ以外にも幼稚園での干し柿作りや小学校でのカヌー体験教室、中学校での学区産品づくりなど、常に地域との協働に取り組んできました。また、コーディネーターが直接生徒と面談する中で、そこから現在の取組の成果と課題を把握し明確化して今後の活動につなげています。また、校区の防災に関しても、コーディネーターの方につないでいただいた校区の大学生が、その防災プロジェクトにも中学生が参加をし、実際に災害が起きた際のシミュレーションをすることで自分たちの果たすべき役割と自分たちに期待されていることを認識し意識を深くできました。一方で小中の授業交流会への地域の方の参加や、地域と幼小中教職員の熟議などを通して、育てたい子ども像を共有し、教職員の意識の向上につなげることができました。



今年度のまとめ

常に地域の方々との協働の中で、地域の方々に感謝する声が増えてきました。その中から、自分もこの地域の一員であることを自覚し、自分はどのように頑張りたいかを言えるようになったり、取組ごとにその準備から片付けまでを積極的に行動できました。また、キャリア教育の一つとして取り組んでいるポスターセッションを人権学習にも取り入れ、地域の方々に発信することで、自己発信力にも自信を深めているところです。

来年度に向けて

コーディネーターの面談などで明らかになったこととして、子どもたちには「関わり力」「自尊感情」の部分でまだまだ課題が残されています。今後はその醸成に向けて、学習支援などの分野においても、さらに地域との協働を深めていきたいです。

テーマ

飛鳥大好きプロジェクト（ADP）

目標

地域と関わる学びの中から地域を大切に誇れる生徒を育てる
地域と学校が一体になり家庭の教育力を高め、社会で通用する力を育てる

今年度の取組紹介

飛鳥中学校区の子ども達を校区のみんなで育て、飛鳥中学校とこの地域が大好きと言える生徒を育てるために、「花・野菜・緑いっぱい運動」での地域の方々から花の植え方や野菜の育て方を学びました。「飛鳥フェスティバル」に関わっては、準備から片付けに積極的に取り組み、学区産品を地域の方々と一緒に作り、それを販売することで地域の方々と深く関わるなど、常に地域の方々の支えの中で地域の方の知恵に学び、地域を誇りに思い、この地域で自分も頑張ろうと思える力が育ちつつあります。さらには、育てた花が学校を彩り、職場体験でお世話になった事業所へのお礼としたり、収穫した野菜を使って収穫祭に取り組んだりしながら、自分たちの自己有用感を高めることができました。

また、この地域の一員として地域から期待されている役割をしっかりと担えることを目指して、今年度は校区として力を入れてきた防災の活動の中で、奈良教育大学主催の災害時のシミュレーションに地域の方々と一緒に取り組みました。

一方で、小中一貫教育としての取組として、幼小中合同研修や授業交流、小中でのQ-U検査などを通して、教員の指導力向上にも取り組み幼小中を通した園児・児童・生徒育成ができました。



今年度のまとめ

地域行事、学校行事ともに常に地域との協働を基本にすえ、活動に取り組んできたことで、子ども達自身が自分に期待されていることをしっかりと理解し、活動だけにとどまらず、準備から後片付けまでのあらゆる面で積極的に取り組むことができました。コーディネーターによる生徒への面談の中でも地域の方への感謝の言葉と地域の中で自分に出来ることを探す姿勢がみられました。また、そのような子どもの姿勢に対する地域からの評価も高まり、次への期待につながってきています。

来年度に向けて

「地域の活動に積極的に関わる」段階から「自ら考え主体的に取り組む」段階に差しかかっています。その基盤となる「人と関わる力」「自分に誇りを持つ力」の育成に向けて、コーディネーターと教職員がしっかりと連携し、地域行事・学校行事での地域との協働を深化しつつ、生徒の学力支援などに取り組んでいきたいです。

テーマ

人との出会いを生かして、人から学ぶ飛鳥っ子

目標

地域に根差した学習活動等において、地域の方々がより活躍できる出会いの場を計画し、児童が様々な地域の方々と出会うことで、地域のよさに気付き地域を大切にしようとする意識を育てる。

今年度の取組紹介

今年度も、地域の方々をゲストティーチャーにお迎えして授業を行ったり、校外学習の引率補助を地域の方に協力願ったりするなどして、子どもたちが地域の方と出会い触れ合う機会を多く持つことができました。例えば、2年生の町探検では、保護者の方にも協力を募り、地域の方と保護者が一緒になって、子どもたちの教育活動を支える様子が見られました。学校を拠点として地域の人々がつながり、地域の教育力を高めることができました。

また、今年度は、地域の方々と環境委員会の子どもたちが、「葉牡丹の寄せ植え」を作成しました。そして、地域の見守り活動に協力いただいている方々や日頃からお世話になっている公共施設などに、子どもたちが地域の方々と一緒に配りました。多くの方から感謝の言葉をいただいたことで、子どもたちは地域の方々とのよい出会いを経験し、地域を大切にしようとする意識につながるよい取組となりました。



今年度のまとめ

昨年度より継続して行っている町探検などの地域学習や、カヌー教室などの体験学習、学校図書室の整備などといった取組については、地域の方々がこれまで以上に主体的・積極的に関わっていただき、地域の方々の学校に対する思いが、より子どもたちに伝わったように感じました。

また、学校や地域の環境に目を向け、校舎内の汚れをきれいにする親子美化活動や寄せ植えの地域への寄贈など、学校や地域の環境を改善しようとする新たな取組を行うことができました。いろいろな機会をとらえ、学校や地域をよりよくしていこうという地域の方々の気持ちに後押しされた取組が、随所に見られた1年でした。

来年度に向けて

今年度は、昨年度以上に地域の方々が小学校に足を運ぶ機会が多くなりました。来年度は一層、小学校も中学校と同様に、地域の教育力を支え高める拠点として機能できるようにしていきたいです。そのためにも、しっかりとした見通しと計画をもって個々の事業を実施することが大切であり、そのための話し合いを密接に行うなど、地域と学校の連携の強化を図ることで、子どもたちと地域をつないでいきたいです。

テーマ

明るく元気でたくましいあすかっ子

目標

いろいろな人やもの、ことの出会いを通して地域が大好きな子に

今年度の取組紹介

- 地域の方との温かい触れ合いを通して地域の方々を身近に感じ、地域に住んでいる喜びと誇り、感謝の気持ちを持ち、地域の人たちとの交流やかかわりを通して、飛鳥の地域が大好きと言える子どもに育ってきています。
- 地域の方によるお話の会は季節や年齢に合わせて読み聞かせてもらい、親しみや感謝の気持ちが育まれました。絵本貸出では読み聞かせてもらった絵本を選ぶ姿が多くなり、たくさんの地域の方やお話と触れ合える時間になっています。
- 地域のお茶の先生や地域ボランティアの方たちにお茶席の所作を教えていただく中で、落ち着いて座れるようになり、地域の方たちや保護者とともに活動する中で会を追うごとに子どもたちの成長を喜び合えるものとなりました。

今年度のまとめ

- 「この前、読んでもらった〇〇の絵本を貸してください」「この本もおもしろいよ」と、自分の思いを伝え地域ボランティアの方とコミュニケーションを図ることができました。
- 「おばあちゃんがお茶碗を出してくれて一緒にお茶、点ててん」とお茶の先生やコーディネーターの方に嬉しそうに話をしていました。

来年度に向けて

- 次年度もキャリア教育を充実させ、日本の文化や自分たちの地域に触れ、愛着が持てるように地域の教育力を得ながら、ひと・こと・ものとの出会いを多くし、コミュニケーション力を向上するよう、また、豊かな体験ができる機会を多く取り入れていきたいです。